（　　）組（　　）番　氏名（　　）

2020「日本史研究」授業プリント　№4

《幕府の動揺と土一揆》

1　４代将軍足利（①　　）治世

（１）有力大名との勢力均衡＝３代足利義満と対照的

（２）鎌倉公方（②　　）との提携

↕ 対立

前関東管領（③　　）の乱(1416)を鎮圧

2　６代将軍足利（④　　）治世

（１）<u>将軍権力強化をねらった専制政治</u>＝４代将軍足利義持と対照的

将軍後継者として籤引で選出された＝神意

（２）鎌倉公方（⑤　　）との対立

（⑥　　）の乱(1438) ― 足利持氏 Vs <u>上杉憲実＋</u>足利義教

結城合戦(1440) ― 結城氏朝・持氏遺児 Vs 上杉憲実

享徳の乱(1454) ― 足利成氏 Vs 上杉憲忠

（３）（⑦　　）の変(1441)

播磨守護（⑧　　）、６代将軍足利義教を謀殺

3　（⑨　　）(徳政一揆)の発生

└ 惣村農民(土民)を中核とした一揆勢が（⑩　　）を求めて蜂起

（１）（⑪　　）の徳政一揆(1428)

京都の土倉・酒屋など高利貸を襲撃して私徳政を展開

（２）（⑫　　）の徳政碑文(1428)

正長の徳政一揆の波及

（３）（⑬　　）の土一揆(1429)

<u>守護赤松氏家臣の国外追放を要求</u>

（　　）組（　　）番　氏名（　　）

（４）（⑭　　）の徳政一揆(1441)

嘉吉の変を契機に、代始めの徳政を要求して京都を占拠した土一揆の圧力に屈し、幕府が徳政令を発布

（５）（⑮　　）徳政令

分一銭を納入すると債権の保護・破棄を幕府が容認

《応仁の乱と国一揆》

１　（①　　）の乱(1467～77)

（１）背景

- ８代将軍（②　　）の政治能力欠如
- 将軍家、管領家((③　　)・(④　　))の家督争い
- 幕府実力者((⑤　　)Vs(⑥　　))の対立

（２）対立関係(1468年頃)

	中心人物	将 軍 家	畠山家	斯波家
東　軍	細川　勝元	足利義政・(⑦　　)	政　長	義　敏
西　軍	山名　宗全	(⑧　　)	義　就	義　廉

（３）経過 ― 1477年に和議成立 → 地方での紛争続く

（４）影響

① 将軍権の失墜 → 幕府体制崩壊
　　→ 守護権威失墜
　　↓
② 下剋上の風潮 → 守護代・(⑨　　)の台頭

③ 京都の荒廃 → 文化の地方伝播

④ 荘園制の崩壊